

神奈川県技生涯研修 基本・自由研修会

令和6年度

第1部 基本研修

- ・「排列の基本をギージー、ゲルバー、パウンド、それぞれの排列方法から考える」
- ・「歯科技工士の総義歯製作における基本とは」
-デジタルになっても基本は変わらない-

生田 龍平 先生



第2部 自由研修

- ・「インプラント治療に携わる歯科技工士の基礎知識について」

杉山 雅和 先生



開催コード 申請中

受講単位 申請中

開催日 2024年11月16日(土)

時間 受付 12:30～
第1部 13:00～16:00
第2部 16:15～18:30

会場受講のみ 50名
受講費

技工士会会員	無料
未入会	3,000円
懇親会 香園	19:00～
参加費	4,400円

講演会場:神奈川県歯科技工士会大会議室
神奈川県横浜市西区平沼1-40-17 モンテベルデ横浜2階

注意事項

今回オンライン講演はありませんのでぜひ会場にお越しください。
懇親会の予約もありますので事前申し込みを申込フォームからお願いします。



[←申込フォームはこちら](#)



令和6年度基本・自由研修会抄録

基本研修

演題：「排列の基本をギージー、ゲルバー、パウンド、それぞれの排列方法から考える」

講師：生田 龍平

内容：我々歯科技工士にとって排列は重要なひとつです。その排列の考え方は年代とともに変化してきました。ギージーが歯槽頂間線法則、そしてゲルバーがレデュースドオクルージョン、パウンドがパウンドラインやリングライズドオクルージョン。しかし、基本は食物を噛んだ時の義歯床の安定です。その排列方法を1人の同じ模型を通して考えて行きたいと思います。

**演題：「歯科技工士の総義歯製作における基本とは」
-デジタルになっても基本は変わらない-**

講師：生田 龍平

内容：総義歯を作るにあたり、いくつかの基本があると思います。1.印象、2.咬合採得、3.排列、4.重合精度、5.咬合調整。この中で我々歯科技工士が関わっているのは2.3.4.5.です。2.の咬合採得は咬合床製作で関わっています。咬合床を作る際にまずは仮床形態があります。模型に外形線を記入するにも解剖や印象面の状態によっても外形線は変化します。また咬合堤の作り方にも大きく咬合採得の良し悪しに影響を与えます。3.の排列に関しては皆さんもご存知の通り排列位置によっても噛める事に影響を与えます。4.の重合精度に関してもせっかく良い印象を先生方に採ってもらってもこの重合精度で悪くなる可能性があります。5.の咬合調整においても我々歯科技工士が咬合器上の調整をしっかりしておけばセット時の調整時間の短縮にもつながります。以上の様に総義歯製作には歯科技工士が大きく関与しています。したがって基本を理解して製作する事が重要だと思っています。この基本はデジタルになっても変わらないと思っています。

自由研修

演題：「インプラント治療に携わる歯科技工士の基礎知識について」

講師：杉山 雅和

内容：2020年3月より2022年4月にわたり医歯薬出版株式会社・月刊歯科技工に「インプラント治療を成功に導くために歯科技工士が果たす役割」と題して16回にわたり連載で書かせていただきました。医療においてこれで正解というものではなく、材料・システムなど常に日進月歩でアップデートされていきます。チーム医療を行う上で共通認識を育み、常に独自の方法を構築していく必要があります。歯科技工士がインプラント治療に携わるうえで最低限知っておくべき基礎知識について一緒に考察したいと思います。